

第2回奈良県看護師がいきいきと働き続けるための実効策検討委員会議事概要

日時：令和4年10月13日（木） 13：00～15：30

場所：奈良県看護協会研修室1

参加者：石澤委員、飯尾委員、杉元委員、竹之内委員、神之田委員
井上委員、小田委員
栗田氏（有識者：ハイズ株式会社）

<議事>

- 1 看護師に対する実態調査について
 - ・対象は県内で就業している看護職及び県内在住の看護職有資格者とする
 - ・「e 古都なら」を活用したアンケート調査とする
 - ・周知方法について看護協会や訪問看護ステーション協議会に周知依頼し、SNS 等も活用する
 - ・調査期間は12月中旬～1月中旬に実施
 - ・その他、具体的な委員意見は別紙のとおり

- 2 今年度の提言内容の検討について
 - ・事務局より、各会議資料に関する説明を実施

スライド 2

「①②を選択した理由」、「③④を選択した理由」

- ・大きく捉える内容にしたほうがよい。
- ・「労働時間が希望通り」について、時間外労働に関すること、働き方の多様性に関すること等、分けて聞いた方がよい。
- ・やりがいに関する選択肢をはじめの方にするなど、選択肢の順序をランダムにする。
- ・ハラスメントと人間関係について、上司・同僚・部下との関係、ハラスメントは、患者・利用者から等、内容がもう少しわかりやすいように。人間関係は、協力体制がとれているか、コミュニケーションがとれているかという聞き方でも良い。
- ・他、身体的につらい、精神的につらい等の理由も必要か？
- ・外発的要因、内発的要因についても考え、外発的要因は順序を後にしてはどうか。
- ・「仕事に裁量がある（ない）」については、「仕事に裁量権がある（ない）」にした方がよい。
- ・「その他（自由記述）」は、「その他（具体的に記載してください）」具体的に書いてもらう工夫が必要。

看護師に対する実態調査について（案）		資料1
I 看護職としていきいきと働いているか		
現在または過去に奈良県内で看護職として働いている（いた）方		
調査項目	回答方法	
奈良県で看護職としていきいきと働いている（いた）と思うか	択一（①とてもいきいきと働いている ②概ねいきいきと働いている ③あまりいきいきと働いていない ④全くいきいきと働いていない）	
①、②を選択した理由（選択必須）	複数選択 上位3つ選択	（・給料に満足 ・労働時間が希望通り ・育児や介護などで両立できている ・自分の能力、経験が活かされていると思う ・希望通りにキャリアアップできている ・ハラスメントがない ・職場の人間関係がよい ・仕事に裁量がある ・その他（自由記述））
③、④を選択した理由（選択必須）	複数選択 上位3つ選択	（・給料に不満 ・労働時間に不満 ・育児や介護などで両立困難 ・自分の能力、経験が活かされない ・希望通りにキャリアアップできない ・ハラスメントがある ・職場の人間関係が悪い ・仕事に裁量がない ・その他（自由記述））

スライド 3

- ・設問順序の変更：「こどもの人数」、「就業前のこどもの人数」の後に、スライド5の「家族の介護の有無」「主たる介護者か」「介護対象者」を移動する。
- ・「現在の就業状況」の前に、現在、看護職として働いているかを聞いた方が答えやすい。
- ・「現在の就業状況」はナースセンターの就業状況項目（求職情報）を参考に修正（常勤、非常勤、臨時等）してはどうか。

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
II 属性		
調査項目	回答方法	
1 現在の年齢（必須）	択一	（20代・30代・40代・50代・60代・70代以上）
2 現在の世帯構成（必須）	択一	（独身・夫婦のみ・こどものみ・夫婦とこども・親と同居・その他）
↓ こどもがいる場合		
こどもの人数（選択必須）	記入式	（ 人）
就業前のこどもの人数（選択必須）	記入式	（ 人）
3 現在の居住地（必須）	択一	（奈良県内（市町村）・大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・和歌山県・三重県・それ以外）
4 現在の就業状況（必須）	択一	（・自営業 ・正規雇用（フルタイム）・正規雇用（短時間） ・臨時職員、嘱託職員、派遣社員、契約社員、アルバイト ・産休、育休中・介護休業中・その他休暇、休業中・離職中）
↓ 就業している場合		
現在の就業府県（選択必須）	択一	（奈良県内（市町村）・大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・和歌山県・三重県・それ以外）

スライド 4

- ・県内就業、県外就業の理由について、通勤時間やアクセスの良さ（悪さ）についての選択肢も追加してはどうか。（奈良県の特性）
- ・択一よりも複数選択させて順位付けしてもらおう方がよい。
- ・県外の理由について、「県境に住んでいる」や「県外の学校を卒業した」を追加した方がよい。（県内の理由と合わせる）
- ・「現在の職種」の前に、持っている資格を聞き、「現在の勤務先での主な職種について、当てはまるもの1つ選択」を聞く。

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
II 属性		
調査項目	回答方法	
県内就業の理由（選択必須）	択一	（・奈良県内の看護師等養成所（大学等）を卒業した ・奈良県内の病院で実習を受けた ・自宅が県内にある ・その他（自由記述））
県外就業の理由（選択必須）	択一	（・県内で働くより待遇（給料）が良い ・県内にはない専門性の高い病院がある ・もともと他府県で勤務しており、県内に転居してきた ・その他（自由記述）） （・保健師 ・助産師 ・看護師 ・准看護師）
現在の職種（選択必須）	択一	
現在の就業施設（選択必須）	複数選択	（・病院 ・診療所 ・助産所 ・保健所、市区町村保健センター ・省庁、都道府県、市区町村 ・検診センター ・企業、事業所の健康管理部門 ・学校、幼稚園、保育所 ・訪問看護ステーション ・地域包括支援センター、在宅介護支援センター ・介護老人福祉施設 ・介護老人保健施設 ・ケアハウス、グループホーム、有料老人ホーム ・その他の居宅サービス事業所 ・その他の社会福祉施設 ・看護系教育研究機関 ・その他（自由記述））
↓ 病院の場合		

スライド5

・「機能・病床数」について、病院の規模と今いる部署の特徴を聞く。(例：400床、回復リハビリテーション病棟)→急性期が合わない等の退職理由とリンクする。

・複数の機能を有する病院の場合、看護部長等の管理職の人が選択できないので、「管理職」の選択肢を入れた方がよい。

・「現在の職位等」について、選択肢の表記方法を工夫する。()の内容は必要か。→わかりやすくした方がよい。

・「資格の有無」について、特定行為について、「厚生労働大臣が指定する」や「保健師助産師看護師法に位置づけられた研修制度」等、注意書きを入れた方がよい。

看護師に対する実態調査の調査項目について 資料1

II 属性		調査項目	回答方法
		機能・病床数(選択必須)	択一 (・高度急性期・一般急性期・亜急性期・長期療養・精神病床)
		現在の職位等(選択必須)	記入式 (床) (・非管理職(一般の保健師、助産師、看護師、准看護師、専任教員等)・中間管理職(看護師長、副看護師長、主任、保健所・都道府県・市町村の係長、教務主任等)・管理職(看護部長、総師長、副看護部長、訪問看護ステーション等の長、都道府県・市区町村の課長等)
5		資格の有無(必須)	複数選択 (保健師(取得年)、助産師(取得年)、看護師(取得年)、准看護師(取得年))
			複数選択 (認定(取得年)、専門(取得年)、特定行為(修了年))
6		家族の介護の有無(必須)	択一 (あり・なし)
		ありの場合	
		主たる介護者か(選択必須)	択一 (主たる介護者である・主たる介護者ではない)
		介護対象者(選択必須)	択一 (両親・祖父母・義父母・その他)

スライド6

・設問9「看護職として就業しなかった期間の有無」については、スライド12以降で過去に勤務した職場の状況を個別に回答してもらうので、削除。

・ただし、就業しなかった期間の有無・期間は、残す。(「満」なのか「1年未満切り捨て」なのか年数の定義はしっかりする。)

看護師に対する実態調査の調査項目について 資料1

II 属性		調査項目	回答方法
7		転職回数(必須)	択一 (0回・1回・2回・3回・4回・5回以上)
		看護職としての経験年数(必須)	記入式 (年) ※臨床以外の年数や産休・育休等期間を含む
9		看護職として就業しなかった期間の有無(必須)	択一 (あり・なし)
		ありの場合	
		就業しなかった期間(選択必須)	記入式 (年月) ※卒業後現在までの通算期間
		就業していなかった理由(選択必須)	複数選択 (・労働条件が合わなかった・結婚・出産、育児・介護・進学・健康上の理由・他業種、他職種への転職・その他(自由記述))

スライド7

・「現在の就業状況が離職中以外の方」という表現を「現在、看護職として就業中の方」に修正。

・設問1「看護職として就職した理由」については、一番はじめの設問にした方がよい。

・選択肢は、「看護職の仕事が好き」「資格を生かしたい」「人と関わるのが好き」「人の役に立つ仕事がしたい」等、看護師という職業選択をした理由を聞き、いきいき働いていたかを聞いた方がよい。

・「就職先として選んだ理由」等、選択肢の1番目に「給料がよい」ではなく、違う項目の方がよい。「自分の力を発揮しやすい環境にある」等も加えた方がよい。

・「勤務年数」は「現在の職場の勤務年数」とわかりやすく表記した方がよい。上にある表記は、忘れやすい。

看護師に対する実態調査の調査項目について 資料1

III 現在の職場について		調査項目	回答方法
現在の就業状況が離職中以外の方			
1		看護職として就職した理由(必須)	複数選択 (・看護職の仕事が好き・資格を活かしたい・子育て等が一段落し、時間に余裕ができた・収入を増やしたい・希望する労働条件で働けるところがみつかった・その他(自由記述))
2		就職先として選んだ理由(必須)	複数選択 (・給料が良い・立地が良い・夜勤がない・時間外勤務が少ない・キャリアアップできる・福利厚生が良い・その他(自由記述))
3		就職先の情報収集(必須)	複数選択 (・施設HPでの求人・新聞、チラシでの求人広告・ナースセンターの紹介・有料職業紹介事業者・ハローワークの紹介・友人、知人からの紹介・SNSなどの情報・その他(自由記述))
4		勤務年数(必須)	記入式 (年月)
5		直近1ヶ月の超勤の有無(必須)	択一 (あり・なし)
		ありの場合	

スライド 8、9

- ・残業代の質問については、時間外労働があるか（頻度）、ないか、時間外労働の手当が適切に支払われているかという角度から聞いた方がよい。
- ・「離職を思いとどまるための改善項目」については、実効策を検討する上で重要な項目であるため、1段階目に好きなだけ選んでもらい、2段階目でそのうち上位3つとかで聞いた方がよい。
- ・「⑭今後のキャリアプランに不安がない」→分かりにくい。「自分が思い描くキャリアプランが期待できる」のような表現の方がよい。
- キャリアアップを強制されないことを望む人もるので、個人にあった多様性も選択肢に入れた方がよい。（*キャリア形成、キャリアアップ、キャリア支援等、用語は統一する）
- ・「離職を考えている理由」、「考えていない理由」もあった方がよい？

スライド 10

- ・「いきいきと働き続けられる職場と思うか」、理由も書いてもらう？
- ・「こどもの発熱等で急な休みが取りやすいか」→「必要なときに急な休みが取りやすいか」に変更。
- ・「17 職務継続のための支援の有無」の設問について、組織がしていること？聞きたいことが不明瞭。
- ・聞いている内容がバラバラなので、設問の順番を考え直した方がよい。

スライド 11

- ・「20 取り組んでいる働き方改革の内容」質問意図を明確に。「現在の職場で取り組んでいる働き方改革の内容」組織が取り組んでいること、個人が取り組んでいること等もわかりやすく。

看護師に対する実態調査の調査項目について

資料1

Ⅲ 現在の職場について

現在の就業状況が離職中以外の方

調査項目	回答方法
残業代の対象となった時間(選択必須)	記入式 (時間 分)
実際に超過勤務した時間(選択必須)	記入式 (時間 分)
6 週休日について(必須)	択一 (・完全週休2日 ・4週8休 ・月3回週休2日 ・月2回週休2日 ・月1回週休2日 ・週休1日半 ・週休1日 ・その他(自由記述))
7 直近1年に付与された有給休暇(必須)	記入式 (日)
8 直近1年に取得した有給休暇(必須)	記入式 (日)
9 有給休暇を希望通り取得できるか(必須)	択一 (・できる ・ある程度できる ・ほとんどできない ・全くできない)
10 離職を考えているか(必須)	択一 (考えている ・考えていない)
↓ 考えているの場合	
離職を思いとどまるための改善項目(選択必須)	複数選択可 (別紙選択項目)
11 副業が認められているか(必須)	択一 (・認められている ・認められていない)

看護師に対する実態調査の調査項目について

資料1

Ⅲ-10 選択項目

①雇用形態が希望通り	②勤務形態が希望通り	③配属部署が希望通り
④教育・研修が充実	⑤福利厚生が充実	⑥妊娠・出産支援が充実
⑦育児支援が充実	⑧介護支援が充実	⑨時間外労働(残業)が少ない
⑩夜勤・夜間対応が少ない	⑪年間休日数が多い	⑫年次有給休暇が取得しやすい
⑬1週間程度の連続休暇が取得できる	⑭仕事に見合った賃金額である	
⑮医師との関係が良い	⑯上司との関係が良い	⑰同僚との関係が良い
⑱自分が組織から良い評価を得ている	⑲看護ケアに十分な時間をあてられる	
⑳希望する看護専門領域をいける	㉑看護技術の向上が望める	
㉒施設の看護理念・方針に共感できる	㉓施設の将来性に不安がない	
㉔今後のキャリアプランに不安がない	㉕通勤の利便性が良い	
㉖その他(自由記述)		

看護師に対する実態調査の調査項目について

資料1

Ⅲ 現在の職場について

現在の就業状況が離職中以外の方

調査項目	回答方法
12 副業を希望するか(必須)	択一 (・希望する ・希望しない)
13 いきいきと働き続けられる職場と思うか(必須)	択一 (・とても思う ・やや思う ・あまり思わない ・全く思わない)
14 こどもの発熱等で急な休みが取りやすいか(必須)	択一 (・とても思う ・やや思う ・あまり思わない ・全く思わない)
15 研修等の機会に参加しやすいか(必須)	択一 (・とても思う ・やや思う ・あまり思わない ・全く思わない)
16 希望する働き方を尊重する職場か(必須)	択一 (・とても思う ・やや思う ・あまり思わない ・全く思わない)
17 職務継続のための支援の有無(必須)	択一 (・あり ・なし)
↓ ありの場合	
支援の制度(選択必須)	複数選択可 (・育児休業 ・看護・介護休業 ・キャリアアップ支援 ・院内保育所(日勤のみ) ・院内保育所(夜間・休日あり) ・クリニカルリーダー評価 ・院内研修 ・その他(自由記述))

看護師に対する実態調査の調査項目について

資料1

Ⅲ 現在の職場について

現在の就業状況が離職中以外の方

調査項目	回答方法
18 認定、専門、特定行為などの資格を有する場合、現在の職場でその資格を有効に活かしていると思うか(選択必須)	択一 (・有効に活かしている ・有効に活かしていない)
↓ 有効に活かしていない場合	
理由(選択必須)	複数選択可 (・職場に活かせる業務がない ・職場が資格を考慮した人事配置をしない ・その他(自由記述))
19 認定、専門、特定行為などの資格を取ったことがあなたにとって役に立っているか(選択必須)	択一 (①大いに役立っている ②ある程度役立っている ③あまり役立っていない ④全然役立っていない)
①、②の理由(選択必須)	複数選択可 (・資格を活かせる業務に従事している(いた) ・資格取得後に処遇(給料)が良くなった ・その他(自由記述))
③、④の理由(選択必須)	複数選択可 (・資格を活かせる業務に従事できていない ・資格取得後も処遇が変わらない ・その他(自由記述))
20 取り組んでいる働き方改革の内容(任意)	記入式 (自由記述)

スライド12

- ・「覚えている限りで大丈夫」「書ける範囲でご記入ください」等、配慮が必要。
- ・「*現在の職場は含まない」等の注意書きも必要。

スライド13、14

・「離職理由」は重要な設問のため、丁寧に聞く。結婚や出産、といったライフイベントと分けた方がよい。自分の理由と組織の理由をマトリックスで考えて整理する。例えば、「急性期看護に向いていない」、「夜勤ができない」等、結婚や出産をしたから離職ではなく、出産して夜勤ができなかったから離職したというように、ライフイベントではない理由を出す。

スライド15

- ・「年金や配当所得等不労所得がある」は「他に収入がある」等に変更した方がよい。
- ・「3再就職に必要なと思う支援については」スライド9の内容と合わせてはどうか。

スライド16、17、18

- ・キャリア形成→用語の統一
- ・再度、全体を見直し、思うところがあれば、事務局まで連絡ある予定。

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
IV 以前の職場（最初の職場から10施設目まで）について		
現在就業中で転職経験がある方又は現在離職中で過去に勤務経験のある方		回答方法
調査項目		
1 以前の就業府県(必須)	択一	(奈良県内(市町村)・大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・和歌山県・三重県・それ以外)
2 以前の就業状況(必須)	択一	(・自営業 ・正規雇用(フルタイム) ・正規雇用(短時間) ・臨時職員、嘱託職員、派遣社員、契約社員、アルバイト)
3 以前の就業施設(必須)	複数選択	(病院(199床未満) ・病院(200~499床) ・病院(500床以上) ・診療所 ・助産所 ・保健所、市区町村保健センター ・省庁、都道府県、市区町村 ・検診センター ・企業、事業所の健康管理部門 ・学校、幼稚園、保育所 ・訪問看護ステーション ・地域包括支援センター、在宅介護支援センター ・介護老人福祉施設 ・介護老人保健施設 ・ケアハウス、グループホーム、有料老人ホーム ・その他の居宅サービス事業所 ・その他の社会福祉施設 ・看護系教育研究機関 ・その他(自由記述))
4 以前の就業年数(必須)	記入式	(年 月)

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
IV 以前の職場（最初の職場から10施設目まで）について		
現在就業中で転職経験がある方又は現在離職中で過去に勤務経験のある方		回答方法
調査項目		
5 離職理由(必須)	複数選択可	(・結婚・出産、育児・介護・健康上の理由・労働条件が合わなかった ・所定の休日が少ない ・その他(自由記述))
労働環境によるもの	複数選択可	(・他施設への興味、進学(大学・大学院)等 ・留学・海外での支援活動等 ・その他(自由記述))
キャリア形成によるもの	複数選択可	(・他施設への興味、進学(大学・大学院)等 ・留学・海外での支援活動等 ・その他(自由記述))
組織風土・職場意識によるもの	複数選択可	(・休日を取りにくい ・看護師間の人間関係 ・他職種との人間関係留学・海外での支援活動等 ・その他(自由記述))
6 どのような支援があれば退職しなかったか(選択必須)	複数選択可	(・短時間勤務が選べる ・出産、育児休暇が取れる ・介護、看護休暇が取れる ・希望に応じた勤務場所の変更ができる ・給料が増える ・休日が増える ・超過勤務が減る ・院内保育所(昼間) ・院内保育所(休日・夜間) ・病児保育 ・その他(自由記述))
離職理由を労働環境の中から選択された方	複数選択可	(・短時間勤務が選べる ・出産、育児休暇が取れる ・介護、看護休暇が取れる ・希望に応じた勤務場所の変更ができる ・給料が増える ・休日が増える ・超過勤務が減る ・院内保育所(昼間) ・院内保育所(休日・夜間) ・病児保育 ・その他(自由記述))

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
IV 以前の職場（最初の職場から10施設目まで）について		
現在就業中で転職経験がある方又は現在離職中で過去に勤務経験のある方		回答方法
調査項目		
どのような支援があれば退職しなかったか(選択必須)	複数選択可	(・進学、留学への支援がある(休暇制度等) ・進学、留学への支援がある(学費、給料等の経済面) ・職場の教育体制が充実している ・他施設(医療機関等)への研修派遣の機会がある ・学会や研修会への派遣の機会がある ・その他(自由記述))
離職理由をキャリア形成の中から選択された方	複数選択可	(・進学、留学への支援がある(休暇制度等) ・進学、留学への支援がある(学費、給料等の経済面) ・職場の教育体制が充実している ・他施設(医療機関等)への研修派遣の機会がある ・学会や研修会への派遣の機会がある ・その他(自由記述))
どのような支援があれば退職しなかったか(選択必須)	複数選択可	(・休日や部分休暇を快く受け入れてくれる職場の雰囲気 ・看護師同士支え合える職場環境 ・上司が見守り、支えてくれる ・他職種とよい関係性を築ける ・看護師としてのやりがいを感じられる ・自分の考えや判断が尊重される ・その他(自由記述))
離職理由を組織風土、職場意識の中から選択された方	複数選択可	(・休日や部分休暇を快く受け入れてくれる職場の雰囲気 ・看護師同士支え合える職場環境 ・上司が見守り、支えてくれる ・他職種とよい関係性を築ける ・看護師としてのやりがいを感じられる ・自分の考えや判断が尊重される ・その他(自由記述))

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
V 現在無職の人		
現在離職中の方		回答方法
調査項目		
1 離職してからの経過年数(必須)	記入式	(年 月)
2 今後の就業希望の有無(必須)	択一	(・あり ・なし)
↓ なしの場合	複数選択可	(・年金や配当所得等の不労所得がある ・家事に専念 ・健康上の理由 ・出産、育児に専念 ・介護に専念 ・看護以外の業務に従事 ・その他(自由記述))
就業を希望しない理由(選択必須)	複数選択可	(・年金や配当所得等の不労所得がある ・家事に専念 ・健康上の理由 ・出産、育児に専念 ・介護に専念 ・看護以外の業務に従事 ・その他(自由記述))
3 再就職に必要なと思う支援(任意)	複数選択可	(・再就職のための研修 ・就職支援金 ・求人の情報提供 ・転職者向け就職説明会 ・インターン制度 ・その他(自由記述))

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
VI 意識調査		
全員の方		調査項目
調査項目		回答方法
1 今後(も)看護職として働き続けたいか(必須)	択一	(・そう思う ・そう思わない)
2 何歳まで働き続けたいか(必須)	記入式	(歳まで)
3 奈良県で看護職として働きたいか(必須)	択一	(・そう思う ・そう思わない)
その理由(任意)	記入式	(自由記述)
4 定年までの間で希望する働き方(必須)	択一	(・現在の職場で働き続けたい ・現在は違う職場で看護師として働きたい ・短期間勤務の正職員として働きたい ・非常勤やパートタイマーとして働きたい ・自分で事業を始めたい(訪問看護ステーション等の開設など) ・看護職以外で働きたい ・退職したい(就業しない) ・ボランティア活動等(国内・海外含む)をしたい ・その他(自由記述))
5 定年までの間で希望する就業場所(必須)	択一	(・医療機関での看護に従事 ・介護施設での看護に従事 ・訪問看護などの在宅医療 ・看護に従事 ・地域保健に従事)

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
VII 意識調査		
全員の方		調査項目
調査項目		回答方法
6 定年以降に希望する働き方(任意)	択一	(・フルタイムの正職員として働きたい ・短時間勤務の正職員として働きたい ・非常勤やパートタイマーとして働きたい ・自分で事業を始めたい(訪問看護ステーション等の開設など) ・ボランティア活動等(国内・海外含む)をしたい ・その他(自由記述))
7 定年以降に希望する就業場所(任意)	択一	(・医療機関での看護に従事 ・介護施設での看護に従事 ・訪問看護などの在宅医療 ・看護に従事 ・地域保健に従事 ・看護系教育研究機関で看護教育に従事)
8 キャリア形成への取組(必須)	複数選択可	(1)職歴の研修、訓練等の受講、参加 (2)職歴の研修、訓練等の受講、参加 (3)看護協会への参加、発表 (4)大学の進学 (5)大学院への進学(専門看護師資格取得を含む) (1)~(8)から複数選択可能
9 今後、取り組んでいる、または取り組んだことがあること(任意)	択一	(・取り組んでいる、または取り組んだことがある ・今後、取り組む ・取り組む意向はない)

看護師に対する実態調査の調査項目について		資料1
VIII 意識調査		
全員の方		調査項目
調査項目		回答方法
9 キャリアアップのために必要と思う支援(任意)	複数選択可	(・研修、訓練(またはその情報提供)の機会を増やす ・教育、研修内容の充実 ・研修期間中の代替業務の確保 ・研修受講を就業時間として扱う ・オンラインの受講環境の整備 ・大学進学等自己啓発のための休業制度、受講費用の補助 ・資格取得に対する処遇の向上 ・その他(自由記述))
10 コロナ前とコロナ後で職場や業務等に変わったか(必須)	択一	(・変化があった ・変化がなかった)
変化の内容(選択必須)	記入式	(自由記述)